

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2024年

7月

227号



◇お盆供養の意味と意義
◇先祖が救われれば幸せになれる

宗教法人 真生会

<http://www.shinsekai-world.or.jp>

令和六年信仰目標

利他行を実践しよう!!

『幸せへの近道、一日二つ人のため!』

真生会の教えとは!

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

孟蘭盆会施餓鬼供養 お盆先祖大法要にお参りしましょ！

自分の先祖は自分の祈りでご供養しましょう。
総本山・教会へ足を運んで、導師のもとで家族
や法友と一緒に報恩感謝とご守護を頂く誠の読
経供養を捧げましょう！！

- ・総本山真生寺 7月21日(日) AM10:00
- ・大阪教会 7月21日(日) AM10:00
- ・名古屋教会 7月16日(火) AM10:00

胡蝶蘭献花供養

教母さま30年忌・胡蝶忌
賢妻慈母の功德を頂きましょう！



真生会ホームページガリニューアル

ナムル君の開運おみくじが充実

毎朝おみくじを引いて充実した一日にするための心構えに活用しましょう。

困った時迷った時、難関突破の仏様の声として是非引いて下さい。

パソコンやスマホから「宗教法人真生会」を検索し「ナムル君の開運おみくじ」をホーム画面に追加して下さい。画面にアプリが作成され、すぐにご覧頂けるので便利です。




困った時、迷った時
今日の心構えに
ずばり！天の声
ナムル君の開運メッセージ




おみくじを引く

スマホにアプリの設定方法

☆ Android の設定方法

- ① Google で宗教法人真生会のホームページを開く
- ②おみくじの画面を出す
- ③画面右上の三点マーク  をタップ
- ④ホーム画面に追加をタップ
- ⑤表示名を「おみくじ」に編集
- ⑥「完了」または「追加」をタップ。画面にアプリが表示される。

☆ iphon の設定方法

- ① Safari で宗教法人真生会のホームページを開く
- ②おみくじの画面を出す
- ③画面下部中央  マークをタップ
- ④ホーム画面に追加をタップ
- ⑤表示名を「おみくじ」に編集
- ⑥「完了」または「追加」をタップ。画面にアプリが表示される。



開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

たなか ひでひと

私たちの学ぶ法華経は「自覚教」であります。今自分に課せられた使命は何かと自覚出来た人から、辛くとも苦しくとも活力と勇気が湧いてくるのです。理論、理屈よりもまず実行が大切であります。自ら正しい道を行う修行こそ生きた宗教なのです。

同じ池の水でも深い池の底の水は、少々の風が吹いても嵐が来ても微動だにしません。浅き水面はちよつと風が吹きますとさざ波が立つように、人生の深さを会得し法を深く悟った人は、少々の人の悪口にも苦しい問題にも動揺がないのです。法話を何度も何度も聞いてどこを切っても法華経の血が流れるように教えを深く身に浸み込ませましょう。

(1983年、真実に生きる38号より)

ご真教法話

会長 田中庸仁
たなか つねひと



◇お盆供養の意味と意義

まもなく新盆（七月十三日から十六日）、旧盆（八月十三日から十六日）を迎えます。

お盆は家族や兄弟姉妹や親戚が実家や本家に足を運び、仏壇参りや墓参りの先祖供養をするための日です。そして、集まったみんなで楽しく食事をし、和気あいあいの平和な姿を先祖に見てもらおう日なのです。輪になって皆が楽しく踊る盆踊りも同じです。

昔から日本中に見られるお盆の大切な仏事であり習慣ですが、最近の風潮はお盆は海外旅行やレジャーの日となり、先祖への報恩供養や親兄弟という家族の触れ合いが希薄になってきています。

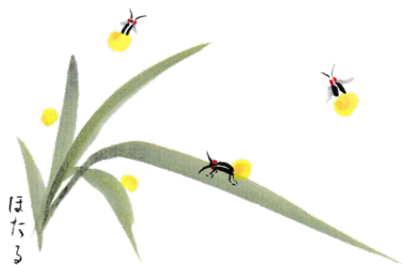
亡き親や先祖が生前の業ごうにより地獄や餓鬼道に落ちて苦しみ、その魂が救われていないと子孫はなかなか幸せになれないのです。

盂蘭盆会うらぼんえの施餓鬼供養せがきくようはお釈迦さまの高弟であった目連尊者もくれんそんじゃに由来します。

目連尊者は平素より一生懸命修行に励んでいましたが、なかなか悟りが開けず悩んでいました。そこで師匠であるお釈迦さまに「なぜ努力修行しても悟りが開けないか」をお尋ねしました。

釈尊は「目連よ、あなたの亡き母は餓鬼道に落ち、苦しみ救われていないので、子供であるあなたがどれだけ修行しても悟りが開けないのだよ」と教えられました。

「お釈迦さま、なぜあんなに優しくして良い母が餓鬼道に落ちて苦しんでいるのでしょうか。私には理解で



きません。」

「目連よ、あなたの母はあなたにとっては良い母であったが、よその子や他人には慈愛や施しが少なく、わが子だけを可愛がる子煩悩の『餓鬼愛』であったから、餓鬼道に落ちて苦しんでいるんだよ。だから、母が救われ成仏しなければ、あなたが悟りを開き幸せになることはできないんだよ」と真実を説かれました。

そこで目連は、痩せ細って苦しむ母に神通力を使って食べ物を送りますが、母が食べようと思うと火に変わって食べられません。これは大変と水を送ると水が油に変わってさらに火は大きくなり、口にすることが出来ません。」

「お釈迦さま、どうしても自分の神通力では母を救えません。どうしたら良いでしょう…」と更に尋ねました。

「目連よ、まもなく雨期が明けて、多くの修行僧が国中に仏の教えを伝え、人を救う布教伝道の旅に出かけます。その大勢の布教師たちに百味の飲食おんじきを供養しなさい。その施しの徳積みにより母は救われ、あなたも悟りが開け、成仏して幸せになれるでしょう」と教えられました。

早速素直に実行した追善の功德により、母は餓鬼道から救われ、目連も悟りが開け幸せになれたのです。

さて、あなたの人生はどうですか？

順調に幸せが実感できていますか！

じわじわと何となく自分の周囲に不安や不幸の兆しが出て来ていませんか？

そんなに不幸でもないが、そんなに幸せとも感じていない「ぬるま湯のよう生活」は、ゆで蛙のようになってしまうと気付いた時には、ゆであがつて身動きが取れなくなってしまうです。

どうぞ、今年のお盆は総本山真生寺や教会の法要にお参りして心からご先祖様の供養をしましょう。

そして、何はさておき実家や本家のお墓参りをしっかりさせて頂きましょう。追善の徳積みでご先祖様が救われれば、必ず子孫も幸せになり繁栄します。



あんなげう

◇先祖が救われれば幸せになれる

かつて中年のご夫婦が紹介で開祖さまにご相談に來られました。

ご主人は真面目なご養子さんで技術者であり会社の重役でした。立派な家も建てられ世間的には幸せなご家庭でしたが、嫁いだ娘が嫁姑の折り合いが悪く、夫婦も意見が合わないようになり、幼い子供を抱えて離婚するといつて突然実家に戻ってきたのです。

娘を説得しても、嫁ぎ先にはもう戻らないと言い張るし、婿の方ももう帰つて來てもらわなくてもいいとカンカンに怒ってみえます。ほとほと困つていましたら、知人から真生会を紹介されて相談に來られたのです。

「ご主人、娘夫婦や嫁ぎ先の親が悪いように思うかもしれませんが、世の中は『困る者の罪』です。娘で困るのは、女の人に徳がないのです。あなたは養子としてこの家に嫁いで來られ、会社では重役になり、立派な新築もされましたが、女房の母つまり姑さんと意見は会いましたか？」

「先生、私が養子に來た時には義父はもう他界しており、せめて義母を喜ばせようと一生懸命働き新築の家も建てましたが、お恥ずかしい話ですが、どう

しても意見が合わず、私の建てた家から出て行っても
らい、アパート暮らしの間に亡くなっていきました。」

「婿と姑が合わずに家を追い出したのも、嫁と姑が
合わずに出戻ってきたのも同じです。蒔いた種が生え
て来たのです。ちようど間もなくお盆法要があります
から、寂しく亡くなつていった義理の母への懺悔さんげと罪
障消滅の徳積みをされるといいですよ。義母の心が救
われれば、きっと何らかのご守護が頂けます。自分が
変われば相手が変わるのが妙法の真理です。」

よくわかりましたとこの父親は、亡き義母の年の数
の年令供養をされたのです。すると法要が済んで数日
後、婿が訪ねてきて「お義父さん、ご心配とご迷惑を
掛けましたが、どうか嫁を返して下さい」と急転直下、
元のさやに戻る功德が現れたのです。その後娘夫婦も
しつかり教えを学ばれるようになったのです。





やめては
いけなく
ことがある
逃げては
いけない
こともある



日めくり解説②

世の中にはやめてもいいことと、やめてはいけないことが色々あります。

親孝行、恩返し、頼まれたことなど、どれも人として続けて行かなければならないことです。続けて行けばきつと信頼を得ることが出来ます。

また辛くてもイヤでも逃げてはいけないことは「与えられた使命」です。親、夫、妻、跡取り息子、社長などの使命から逃げたくなるような責任や重圧があります。

しかし、足踏みしても逃げてはいけません。猛獣でも背を向けて逃げだしたら、追いかけて来てやられてしまします。しっかり見つけて動じなければ、相手が下がって行きます。

29



世間体よりも

自然体

自分自分

人は人

比べないこと



ついつい世間の目、世間の評判が気になってしまい、自分らしきを見失い、違う自分になろうとするから苦しくなるんですね。

ありのままの自分でいられること、ありのままの自分を認めることが出来れば気持ちは楽になります。

人にはそれぞれの個性があり、違いがあるから魅力があるんです。全員美人であつたら美人ではなくなります。全部優等生だつたら、頑張る意味がない。絶対〇〇なんてないのです。

人と比べるから優劣や差別が生まれます。自分の良さを見つけ、自分らしさを発揮出来たら、それが幸せ、それが生き甲斐になります。

今月の運勢（8月）

（2024年8月7日～9月7日）

一 白水星

節度を保つことが大切な月。収穫が得られて楽しい時期だが、度を越してはいけない。しかし、出来もしない苦節にこだわり、喜べない行き過ぎた節約もいけない。

二 黒土星

自分の力を内に秘め、謙虚な姿勢があれば周囲の信頼と尊敬を受け何事もうまくいく。反対に驕慢は禍いをもたらされる。自分の身を削って施しの徳を積むことを心掛けよう。

三 碧木星

太陽の下にあり輝くばかりの明るさで動き始

める。事は思い通りに運ぶが手放しで安心してはいけない。度を越した盛大さは衰落のもととなる。太陽のよう

に誰に対しても陰日向なく公平に接しよう。

四 緑木星

運氣は谷間だが不断の努力を続ければ困難が解消し悩みごとから脱却できる。今まで心に引っかかっていたものが喜びで砕け散る。反面結束が崩れそうな時は全力で防ぐこと。

五 黄土星

思いやりの心をもってコツコツと基礎固めをしよう。今は大きく動く事より人材育成と実

力を磨くこと。月の後半から運氣が上がり始めるがあわてて動き始めないように注意。

六 白金星

何事も無心に行えば天から望外のご褒美がもたらえる。想定外の福が到来する。運氣はいよいよ上り坂である。天の理に従って正道を歩めば安心。欲や邪心を出したら雷が落ちる。

七 赤金星

頑張り過ぎと責任の重さに心身ともに悲鳴をあげそうなギリギリの所に来ている。運氣は強いので大らかな気持ちになつて喜びながら行動すれば大丈夫。優

しく柔らかな気持ちでいれば願ひ事は通る。

八 白土星

中心にいて八方から注目されている。富士山のように身も心もどつしりと落ち着いて動かないこと。やってきたことが一旦止まり、再出発に備えてエネルギーを蓄える時です。

九 紫火星

積み上げて来た努力に大きな結果が出る時です。周囲の結束を固め、内容を充実させることが大切。情熱とスピード感をもって物事を進めること。経験者や上位者に近付けば応援が得られる。

「まごころ誌代」御礼

正木みつ子	笹原正子	今園信子	田中光隆	大橋千枝子
林田哲嘉	村上視佑記	今園達也	田中理夏子	黒田京子
細谷早予子	長尾かれん	今園雄一郎	田中宏明	飯田昌子
東島杏実	堀田純子	今園雄太	田中花音	飯田修五
東島佑樹	平口富子	今園花菜	亀井善広	山辺眞一
東島杏衣	三村千佳	今井純司	亀井由実子	加納啓至
坪井佑介	三村南央斗	岸本昌子	熊田啓予	山田佳延
坪井祥子	大下裕子	滝本光夫	早野起世	土川順寛
滝山恵依子	樋口恵美子	加納悠貴	足立和美	土川恭代
永田雅子	樋口容子	加納宏樹	高橋身衣	土川康二
荒木敬依子	坪井佑介	加納快志斗	早野桂子	土川廣美
宮島りえ	石丸祐視子	京川春男	堀部恭利	横山知津子
坂本育身	長尾夏芳里	松本裕樹	堀部祐美衣	山本季美衣
小村友子	清崎聖良	亀井善二	豊田直正	佐藤百々枝
片桐淳子	大西啓依子	鈴木正巳	豊田真悠子	佐藤光洋
出田ときこ	林田哲嘉	田中庸仁	加藤祐記子	伊東 晃
出田 溪	細谷早予子	田中佑季子	松尾定洋	安田初子

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

幸せは

あなたのまわりに

あふ
溢れていきます。

それを感じられる方

それは

自分次第です。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|----------------------------------------------|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします